

「新防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 [栢江小学校] 氏名 [半澤 千恵子] [小] 学校 [1・2・3] 年版 単元名 [雨・風・かみなりについて知ろう] p28-29 教科・領域名 [理科] [時間 45分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気の変化して、雨、風、かみなりなどの自然現象が起こること、それがはげしくなると災害にもつながる危険があることを知る。 ・ 天気予報の表し方や、太陽・空・雲・地面の様子などから、自分でも危険を察知し危険を回避しようとする関心意欲・態度を育てる。 <p>1 天気の変化によってどんな現象が起こるか、これまでの経験を集めて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに、「天気が悪くなる」とはどんなことかを書き出し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨が降る ・ 風がふく ・ 雷が鳴る ・ 竜巻 ○ その中で「こわい」と感じたことはあったか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が川のようになった ・ ふっとばされそう ・ 崖や山がくずれ人や家がながされたニュース ○ 人間の力では止められない自然現象であることを確認する。 <p>2 危険から身を守り災害に巻き込まれないために、どうしたらよいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「にげる」「家に入る」「かくれる」の3つから、自分ならどうするかをワークシートに書く。 ○ 書いたものをもとに、どの行動がよいか話し合う。(グループ→全体) ○ 正しい判断の助けになるものはないか？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気予報 ・ ニュース ・ 自分で観察 等 <p>3 DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」を視聴し、正しい判断や予知する力の大切さを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴しての感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雷こわい。雨も。あの子たち助かったかな？ ・ 天気予報で言っていたのを気を付ければよかった。 <p>4 新防災教育副読本のp28～29を見ながら、天気の変化と災害について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 天気予報での表現と実際の気象状況、起こりうる災害について、資料を全員で読みながら確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨は雨量を測るんだ。予報で何ミリと言ったらこんな準備しなくちゃ。 ・ 風の強さは風速何メートルって言っていた。 ・ 雲の様子を見て、雷や竜巻に気を付けなきゃ。 ○ ワークシートに感想をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雷は高い所に落ちる事がわかった。車や家に逃げる。 ・ 雷が鳴っているときは木の下にいちやいけない。 ・ 雨の日は川や海の近くには行かない。 ・ 逃げることで、避難が大事ということがわかった。 ・ 自然の災害はすごいなと思った。 ・ 「大丈夫」とか言わないできちんと見る、調べる。等 	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新防災教育副読本 一部を拡大したもの ・ DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」 ・ かさ ・ 水槽 ・ 送風機 ・ ワークシート <p>1 「天気の変化」が災害につながる時もあることの確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 突風や大雨で身近に起きたことの体験談が子供たちから次々と出された。 ・ 広島で起きた災害のニュースも、多くの子が関心を持って見ていたのが分かった。 ・ 身(命)を守る行動の必要性を、ほぼ全員が感じ取った。 <p>2 身を守る行動＝適切な避難行動とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三択でワークシートに書かれた答えは、それぞれ異なり、それをもとにグループで意見交換してみると、いろいろな視点が出された。 ※ 身を守る行動には正しい判断が必要だが、状況により簡単ではないことに気付く。ここで天気予報やニュース等メディアによる情報に関心が向き空や雲の観察に関心を向けられなかったことを反省している。3年理科としては大切にしたい視点。 <p>3 DVD(気象庁製作)被害編6分のみ視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然のサインを見逃さないこと、大丈夫と軽視しないこと、危ないと感じたらすぐ避難行動をとること等を感じ取るには効果的な教材となった。 <p>4 新防災教育副読本を資料に、雨や風、雲について強さの表し方や災害との関係について知る。</p>  <p>副読本を熱心に読む 資料の説明 送風機を使って</p> <p>【授業評価】</p> <p>3年理科に防災教育のねらいを重ね、盛りだくさんのことを目指したため、理科としては適切な学習過程だったといえないと感じている。避難を身近なこととしてとらえさせることはできた。</p>

